



# 関西珠洲会だより

関西珠洲会

発行責任者  
会長 宮崎 和夫

## 能登半島復興祈念 関西珠洲会主催 燈籠山祭り応援ツアー一報告

日時：令和7年7月20日（日）～21日（祝・月）

<7月20日>

- ・ 珠洲市宝立町 見附海岸散策
- ・ 懇親会（宿泊：ラブロ恋路）
- ・ 燈籠山祭り参加

<7月21日>

- ・ 宗玄酒造訪問、お買物
- ・ イカの駅ツクモール お買物
- ・ 魚料理民宿やまじゅう 昼食



関西珠洲会主催により、「能登半島復興祈念 珠洲市飯田町 燈籠山祭り応援ツアー」を実施しました。参加者は関西珠洲会の会員に加え、関西石川県人会連合会、京都石川県人会の皆さま、さらに夜の懇親会からは東京珠洲会の方々も合流し、総勢33名で燈籠山祭りの巡行に参加しました。

昨年の能登半島地震や奥能登豪雨を乗り越え、本格開催となった燈籠山祭り。今年は2年ぶりに「北國花火珠洲大会」も同時開催され、会場は多くの観客で賑わい、珠洲の夏が鮮やかに彩られました。ツアーには初めて珠洲を訪れる方もおられましたが、「ヤッサー、ヤッサー」の掛け声とともに曳き手として祭りに参加し、珠洲の祭りの魅力を肌で感じていただくことができました。改めて、復興には祭りの力が欠かせないことを実感する機会となりました。

地震の爪痕を感じるも、美しい見附海岸を散策



今なお神々しい見附島、これからは復興のシンボルに！



泉谷珠洲市長にもご多忙の中、見附海岸までお越しいただき、最先端の復興への想いを力強く語ってくださいました。

参加者同士の親睦を深めながら、珠洲の魅力と復興への力強さを肌で感じる機会となりました



バスでは珠洲の魅力を鑑賞



懇親会は「石川・愛！」で締め



宗玄酒造を訪問しお買物

珠洲・燈籠山祭り

2年ぶり8基そろそろ  
復興へ元気発信

北國新聞 7月21日朝刊に関西珠洲会 宮崎会長のコメントが掲載されました。  
**<輝く曳山、力強く巡行 珠洲・燈籠山祭り 2年ぶり8基そろそろ 復興へ元気発信>**

珠洲出身者でつくる関西珠洲会などのメンバー約30人が巡行に協力した。宮崎和夫会長（77）＝堺市＝は、関西から移動するバスで燈籠山祭りのビデオを見ていたと説明し「能登の復興には祭りが欠かせない。復興するまで応援を続ける」と力を込めた。

